



# どっこいしょ

Dokkoisyo



2016.5.20 (金) 第6号

## 備えあれば、憂いなし

～ 普段からの準備と心がけ～



# 備

中間テスト2日目の今日、テスト終了後に避難訓練を行いました。

- (1) 突然の地震や火災が起きたときに、集団で避難する場合の心構えや行動力を養う。
- (2) 日常から災害に備え、普段の生活を見直す。

この二つが目的です。いざというときには、普段からの心がけと準備（練習）が大切です。

今週16日（月）の夜には、関東の茨城県南部で震度5という地震が発生し、テレビで緊急地震速報が流れました。あの音を聞くと、誰しも緊張するものです。遠く離れた場所であっても「そこに暮らす人たちが生き物は大丈夫なのか」と考えてしまいます。

4月の熊本の地震では、いまだに多くの方々が避難されています。今後も大きな地震が来るのではないかとマスコミも報道しています。この江井島という地域は海沿いにあります。地震、津波の影響も十分考えられます。みなさんが家庭にいるとき、外にいるとき、いざというときにどのような行動をとるのか、家族で話し合ってください。

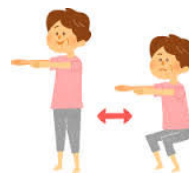
「備えあれば憂いなし」という言葉が、中国の「四書五経」という書物に書かれています。「これ事を事とする。乃ち其れ備え有り。備えあれば憂いなし。」という文章です。日ごろからいざというときの用意をしておけば、何事も心配はないという意味。

地震や津波は、人間が作り上げたもの、家や財産、そして人の命までも一瞬のうちに奪います。また、元の生活に戻るためには非常に長い時間と多くの労力が必要となります。備えたからと言って、地震の発生を防ぐことはできませんが、備えることで被害を少なくする、小さくすることは可能だということです。

皆さんも普段からの準備と心構えを家族で話し合ってください。あるいは、具体的な動きを決めておくことも大切でしょう。

## こんな備えも

～ 毎日持ち歩くポーチの中には～



水曜日の朝、登校する生徒にあいさつをしていると、正門付近をウォーキングしている背筋がピンと伸びたおばあさんに出会いました。「おはようございます」と挨拶すると、こんなお話を聞くことができました。

「77歳、若い頃は毎朝5:35分の山陽電車に乗り職場に向かっていったこと、心臓が少し心配なこと、歩いている途中で倒れたら困るので、いつも持っているポーチに自分の名前と連絡先、見つけてくれた人へのお礼の手紙を入れていること、そしていつも家族が温かく見守っていてくれること」

その後、池のほとりまで一緒に歩きましたが、毎日続けること、その中でいざというときの「備え」を持ち歩くということを教えていただきました。背筋をピンと伸ばしてゆっくりと歩くおばあさんの明日はきっと明るいと思います。

ご家庭でも、日頃からの「備え」について話し合ってください。

ピ・そなえる・そなわる  
イ（ひと）と音を表す部分  
（ヒ：用意する意）とからなり、思わぬできごとを処理するために用意している人の意味を表す。ひいて、そなえるの意味に用いる。

## 教育実習生、毎日 学んでいます！

▼5月10日（火）から、3週間の予定で3名の教育実習生が指導教諭のもとで学んでいます。詳細は各学年の学校便りをご覧ください。

▼今日で実習2週間が終了。朝早くから出勤し、教材研究と授業実習。放課後は部活指導と充実した日々を過ごし、教員の日常を体験中。その中で喜びと充実感、また、難しさ、厳しさも学んでくれると思います。

▼残り1週間、がんばろう実習生！

Topics

## ガザニアの花

▼正門と西門に花壇があります。用務員の高見さんと泉さんが、ガザニアをていねい植えられました。

▼西門の南側にはマリゴールドの苗。これからきれいな花を咲かせてくれます。

